

## ブレスト=リトフスク条約の内容

ソヴィエト=ロシアとドイツ、オーストリア=ハンガリー、ブルガリア、オスマン帝国の4カ国は直ちに停戦した。ロシアはポーランドの領土主権を放棄、エストニア、ラトビア、リトアニアのバルト三国、フィンランド、ウクライナ、ベラルーシから撤退して独立を認め、カフカス地方の一部をオスマン帝国に譲った。この時ロシアが喪失した領土は合計320平方kmに及び、ヨーロッパ史上未曾有のことであった。またロシアは、人口の約三分の一、最大の穀倉地帯、石炭・鉄・石油などの近代的工業中心地などを失うことになった。

ソヴィエト=ロシアが放棄した地域には次々と新国家が自立したが、実際にはドイツ軍が駐屯し、ドイツの傀儡政権が樹立されその保護国同然であった。しかも8月末には、ドイツはロシアの苦境を利用して同盟国側と追加条約を結ばせ、新たにグルジア（ジョージア）の独立と60億ルーブルの事実上の償金、バクー産出の石油の三分の一の引き渡しなどを認めさせた。<木村靖二『第一次世界大戦』2014 集英社新書 p.182>